

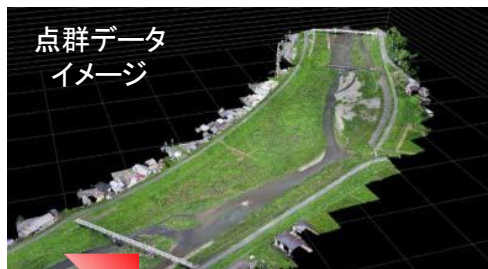


トランシットによる測量

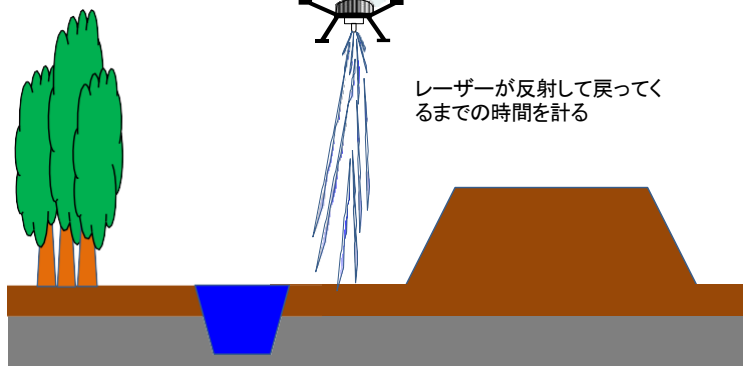
レーザースカナ搭載

ドローンによる測量

ドローンにレーザースカナを搭載し  
上空から地表に向けてレーザーを照射することで  
広範囲、高密度の点群データを短時間で取得



測量作業  
イメージ



レーザーが反射して戻って  
くるまでの時間を計る

## 【建設業での適用可能箇所・効果等】

### 発案理由(コンセプト)

→測量は人による作業で1点1点測定しなければならなかったため、時間を要する作業となる。ドローンの活用とレーザースカナの技術を活用することで作業効率の向上が見込めると考えた。

### 適用箇所

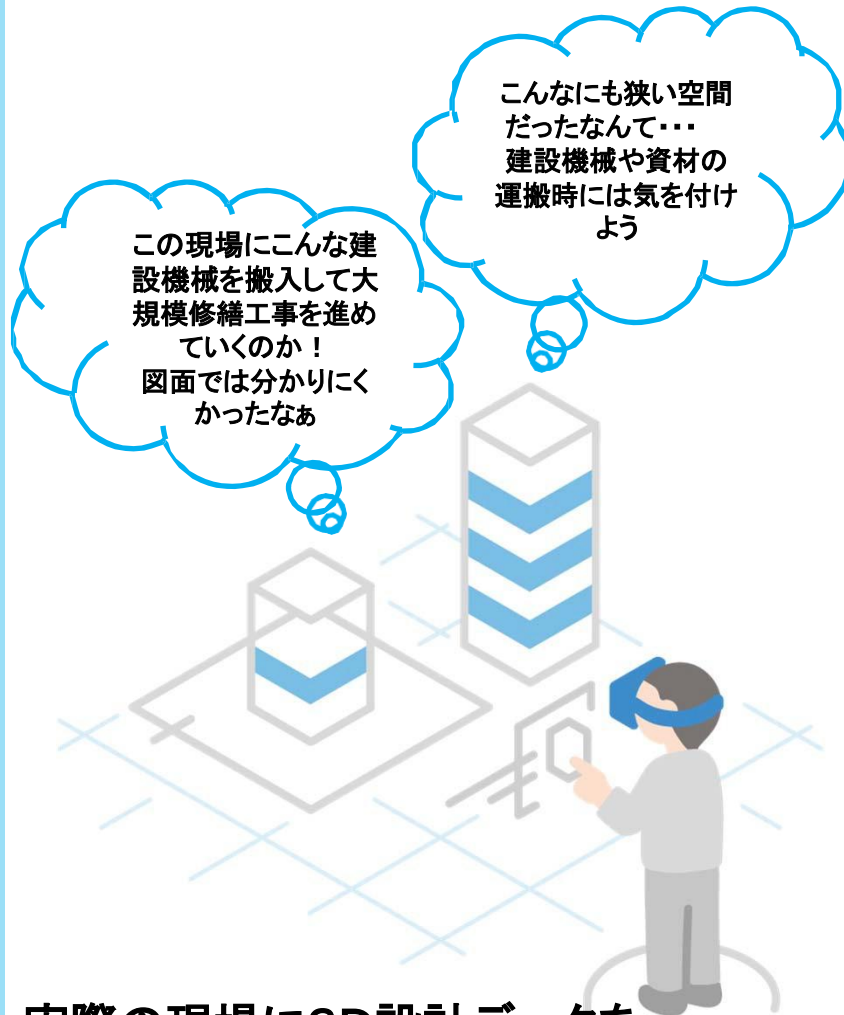
→測量を実施する箇所

### 効果等

→測量に時間を要していたのが、ドローン測量にすることで広範囲、高密度の点群データを短時間で取得出来る。



### 【未来道具のイメージ図等】



実際の現場に3D設計データを照らし合わせたMRをみんなで見て共有

### 【建設業での適用可能箇所・効果等】

#### 発案理由（コンセプト）

→図面だけでは作り上げていく現場をイメージすることが難しいため、実際の現場に3D設計データを照らし合わせたMR空間を見て共有し、同じ認識の中、話し合いをしたり工事を進めていくことができるものを考案。

#### 適用箇所

→受発注者。

#### 効果等

→受発注者間で作り上げていく現場のイメージを共有できる。

経験年数が浅く、現場をイメージしにくい若手技術者にも分かりやすい。

施工しなければ分からなかったことが事前に分かり、安全管理にも繋がる。